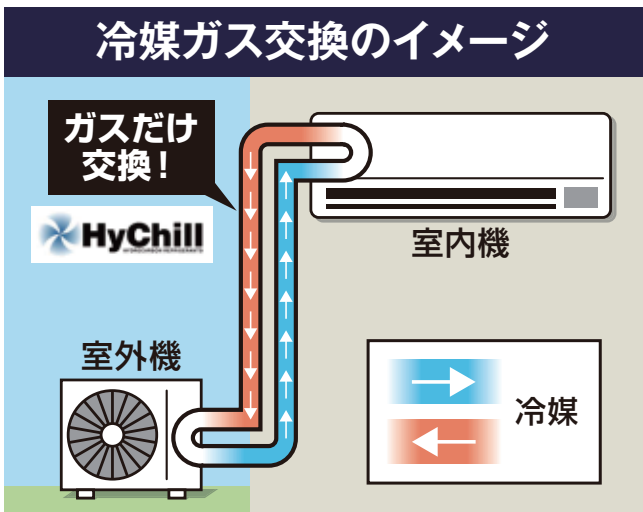


冷媒ガス交換で7割の電力削減を記録!



削減実績例(一部)		
全国ホテルチェーン店 約170店舗	▲39%	
北海道 食品工場	▲49%	
鉄道内店舗	▲44%	
全国ジムチェーン店 約1,500店舗	▲33%	
新潟県 データセンター	▲42%	
沖縄県 放送局ビル	▲50%	
八重瀬町 道の駅	▲37%	
八重瀬町 託児所	▲38%	
関西 スーパーマーケット	▲40%	
関東 ホテルチェーン	▲42%	
秋田県 米保冷倉庫	▲62%	
沖縄電力グループ会社施設	▲70%	
福岡県 パチンコ店	▲41%	
福島県 スーパーマーケット	▲44%	
東京都 順天堂大学	▲40%	
宮城県 東北大学	▲46%	
宮崎県 ビニールハウス	▲51%	
福島県 宿舎	▲54%	
沖縄県 クリーニング店	▲42%	
島根県 プラスチック工場	▲44%	他

ここに来て、今まで手付かずであった空調分野においても地球温暖化の犯人であるフロンガスに替わるノンフロン・自然冷媒ガスへの転換が始まっている。世界では、フランスのフロン規制のように脱フロン動きは早くから社会に浸

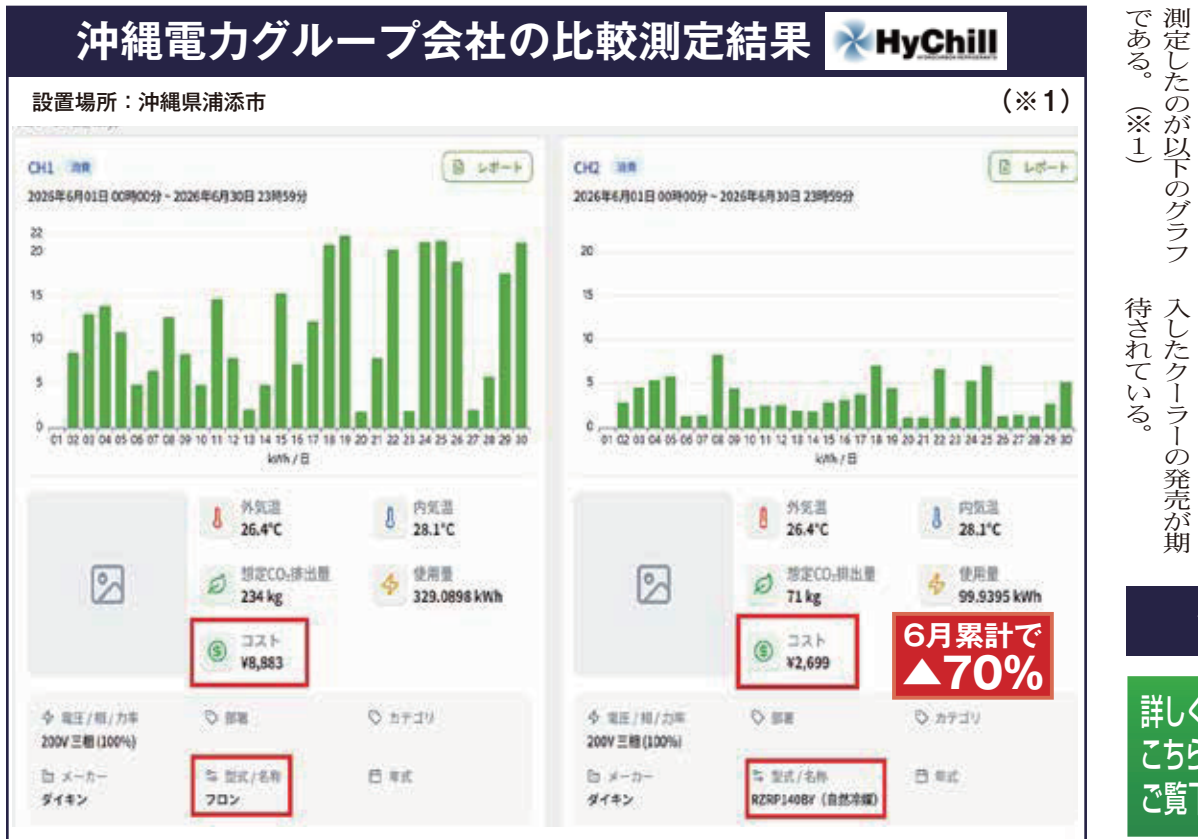
「ここに来て、今まで手付かずであった空調分野においても地球温暖化の犯人であるフロンガスに替わるノンフロン・自然冷媒ガスへの転換が始まっている。世界では、フランスのフロン規制のように脱フロン動きは早くから社会に浸

自然冷媒ガスの登場

透しているが、亜熱帯の本では逆に地球温暖化による熱中症対策として学校や家庭でのクーラー普及が猛スピードで広がっている。地球温暖化を進める犯人であるフロンを冷媒に使った冷房装置という皮肉な循環であり、政府はこのガスの漏洩防止と回収のために多大な予算を使っている。ユ

株式会社あかりみらい 代表取締役 越智 文雄氏

プロフィール◎越智文雄(おち・ふみお)
1980年~2009年、北海道電力・電気事業連合会勤務
2008年北海道洞爺湖サミット環境総合展 事務局長
札幌なにかができる経済人ネットワーク主宰
(一社)日本の灯りを護る会 代表
(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議 代表理事
日本除菌連合 会長
(一社)日本自然冷媒研究開発機構 理事
日本省エネルギー推進連合 代表



全国での冷媒交換工事事例

お問い合わせは、株式会社あかりみらい、コールセンター0120-760-814へ。

温室効果ガスを削減し、高騰する電気代を大幅削減!

グリーン冷媒 ドロップインテクノロジー

自然冷媒でカーボンニュートラル

フロン脱却 → 『グリーン冷媒』への変更で可能に

温室効果ガス脱却 数千~数万トン削減

電気代削減 3割~7割!

法定点検費が不必要 改正フロン法対象外

設備寿命長期化 安全な低圧ガス

現状のエアコンや冷凍冷蔵庫を入れ替える必要はありません!

ご導入まで

- お打合せ 導入機器の選定
- 現場調査 導入機器調査実施
- 施工 認定された施工員による施工
- 結果報告 温室効果ガス及び電流値の削減報告

対象施設

- 業務用エアコンを使用している 店舗・企業・工場・施設
- ルームエアコンを多数利用している ホテルや各種施設 地方自治体 電車・バス 船・自動車など

よくあるご質問

- どんな種類の機器に導入できますか?
- ガスを変えることで設備が故障する事はありませんか?
- 業者から自然冷媒は発火すると言った聞きましたか?
- 工事ににかかる時間はどれくらいですか?
- 費用はどれくらいかかりますか?
- 分割払いは可能ですか?

2027年問題解決・冷媒交換ガス交換オンラインセミナー 参加無料

自治体一括LED化と空調の自然冷媒ガス交換に関するオンラインセミナーを開催します。財源確保、環境問題、地域活性化などに寄与する明るいまちづくりを目的に専門家がエネルギーコンサルタントの観点からアドバイスしています。企業・団体の方もどうぞ。

セミナーコンテンツ

- 2027年問題への対応策
- 公共のLED化が進みにくい理由
- モノが足りない、ヒトが足りない、カネが足りない
- 図面からの試算方法、正しい入れと誤った入れ
- 全国自治体試算例・注意点
- 空調冷媒ガス交換について
- 入れにおけるコンプライアンス

無料進呈 冷媒ガス交換・一括LED化の全てが分かるパーフェクトマニュアル

電気代削減の解決策が全てここに集約!



エアコンのガス交代 ハイチル登場!



テレビCMはこちら

よくある質問

Q 自然冷媒ガスとはどのようなものですか?

A 自然冷媒ガスとは、自然界に存在する物質を冷媒として使用したものです。自然界には、アンモニア、二酸化炭素、水、空気、炭化水素といった、いわゆるナチュラル5と呼ばれる物質が存在します。共通の特徴としては、従来のフロン冷媒ガスに比べ地球温暖化への影響がほとんどないことです。

Q フロン冷媒ガスを自然冷媒ガスに交換するとなぜ電気使用量が下がるのですか?

A 当社が提供する自然冷媒ガスハイチルは混合炭化水素冷媒ガスです。長年の研究開発を経て、オーストラリアのガス検査会社が既存のフロン冷媒ガス機器への適合性を追求し、開発した混合炭化水素冷媒ガスです。
電気使用量が削減される理由は、使用されている物質の分子量が小さいため、圧縮に必要な力が少なく済むからです。さらに、蒸発潜熱が高く、熱交換効率も優れているため、コンプレッサーへの負荷が軽減され、結果として消費電力が低減されます。

Q 導入事例のある企業について教えてくださいませんか?

A スーパーマーケット、コンビニ、ドラッグストア、ホテル、大学、保冷倉庫、食品工場、スポーツジム、クリーニング店、自治体、公共施設、道の駅・資料館、農業ビニールハウス他、多くの業態で採用されています。

Q どのような業種の空調システムに適していますか?

A 幅広い空調システムに適用できますが、電気代の削減効果を最大限に発揮しようとする、データセンター、24時間稼働の店舗、温度管理が必要な貯蔵施設、工場、ホテル、商業施設といった、運転時間や使用頻度が高い業種に適しています。

Q 海外における普及状況はどうですか?

A 海外市場においては日本より普及が先行しており、欧米諸国を中心に70か国以上で採用実績があります。

Q 自然冷媒ガスの安全性について心配はないのですか?

A 日本国内の高圧ガス保安協会にて輸入検査基準に合格しており、従来のフロン冷媒ガスよりも燃えにくく、有害な成分を含んでいません。安心してご使用いただけます。

Q 自然冷媒ガスの可燃性に関して、安全評価に関する情報を提供してもらえますか?

A フロン冷媒ガスと同等の可燃性を持ちますが、自然冷媒ガスは、フロン冷媒ガスに比べ着火温度が10℃以上高く、室外機内に封入する冷媒量も2分の1のため、より安全性が高いものです。
さらに、屋外の室外設置機器からの交換を前提としていること、および着火にいたる条件が通常では考えられないため、理論的には着火の可能性は極めて低く、事故事例もありません。フロンガスが燃えない条件下ではハイチルガスも燃えません。

Q フロン冷媒ガスからハイチルガスへの交換によって、空調機器本体に不具合が生じる可能性はありますか?

A 一切ありません。逆に封入圧力が小さくなることで機器の寿命が延びることが期待されます。

Q フロン冷媒ガスを自然冷媒ガスに交換する場合の概算費用を教えてくださいませんか?

A 費用は、機器の能力(馬力数)と既存フロン冷媒ガスの充填量によって変動します。
参考までに、業務用パッケージエアコン4馬力の場合、およそ15万~20万円(税別)となります。
規模が大きい施設やチェーン店などの場合のお見積りも、機器の型式と台数をお知らせいただければ、算出させていただきます。

Q 電気料金はどのくらい削減されますか?

A 機器の種類と使用状況によって異なりますが、およそ3~7割程度の電気使用量削減が見込まれます。(交換前後の空調使用状況が同一の場合)また、デマンド値の低下により、基本料金も削減できます。

Q フロン冷媒ガスからハイチルガスへの交換の費用対効果について、想定される回収期間の目安をお伺いできますでしょうか?

A 空調機器の稼働時間に基づき、24時間運転の場合の交換費用の回収期間は約1年2ヶ月、8時間運転の場合は約3年程度と見込まれます。(過去の実績に基づく)

Q 自己負担なしで実施可能と聞いていますが、フロン冷媒ガスからハイチルガスへの交換費用を分割払いすることはできますか?

A 提携する信販会社を通じて、分割払いが利用できます。分割年数とご使用状況によっては、電気料金の削減分のみで導入費用を賄い、追加の負担なく導入することも可能です。

Q 空調機器メーカーから、従来のフロン冷媒ガスを使用しない場合は今後の点検対応ができないと言われました。その場合どのように対処すればいいのでしょうか?

A 施工後のアフターケアは、原則として施工担当業者が責任を持って対応します。
自然冷媒ガスはフロンではないので点検義務が無くなりますが、定期的なメンテナンスをご希望の場合は、別途保守契約にて承ることも可能です。全国に施工拠点を配置しており、迅速な対応が可能です。

Q フロン冷媒ガスから自然冷媒ガスへ交換することによって、フロン排出抑制法における定期点検が不要になるというのは、本当ですか?

A はい、その通りです。自然冷媒ガスは、低圧かつ無害である特性から、フロン排出抑制法で定められた簡易点検と定期点検が一切不要となります。この結果、お客様は点検にかかる費用や手間を大幅に削減できます。

Q 多くの利点があるにもかかわらず、普及が進んでいない理由について教えてくださいませんか?

A 日本国内での認知度の低さや、地球環境問題への意識の不足が、普及を妨げる要因となっている可能性があります。
しかしながら、ハイチル社のガスは、電気使用量の削減と地球温暖化対策に貢献する冷媒分野の独自技術として高く評価されており、現在、様々な産業分野において導入が急速に進んでいます。
また一部の空調業界が既存ガスの在庫削減を図るため最新製品として採用せず、消費者にも採用させないようにしていることも事実です。(右の工業会チラシをご覧ください)

過去1万台のガス入れ換えで故障例はありません。

炭化水素系ガスの燃焼温度はフロンと同程度で火災や爆発は起こりません。

ノンフロンガスに転換後には法定のフロン漏洩点検義務はなくなります。



Q 導入後に効果が認められなかった場合、返金保証はありますか?

A 返金システムはありませんが、当社の施工に起因する不具合により、期待される効果が得られない、または正常な温度がでない場合には、無償での再施工を承ります。
それでも改善が見られない場合は、返金対応をさせていただきます。

Q 多数の施設を所有していますが、それぞれの施設について試算をお願いできますでしょうか?

A はい、償却シミュレーションを含めた試算をご提案させていただきます。

Q 節税対策として費用に計上できますか?

A できます。今年度決算の節税となり、来年度にはさらに大きな省エネによる経営効果を実感していただけます。

Q 自然冷媒への交換はどこに申し込めば良いのですか?

A ハイチル社自然冷媒への交換は、お気軽にみらいコールセンターにお問い合わせください。

自然冷媒への交換に関するお問い合わせは



株式会社みらいコールセンター

0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)